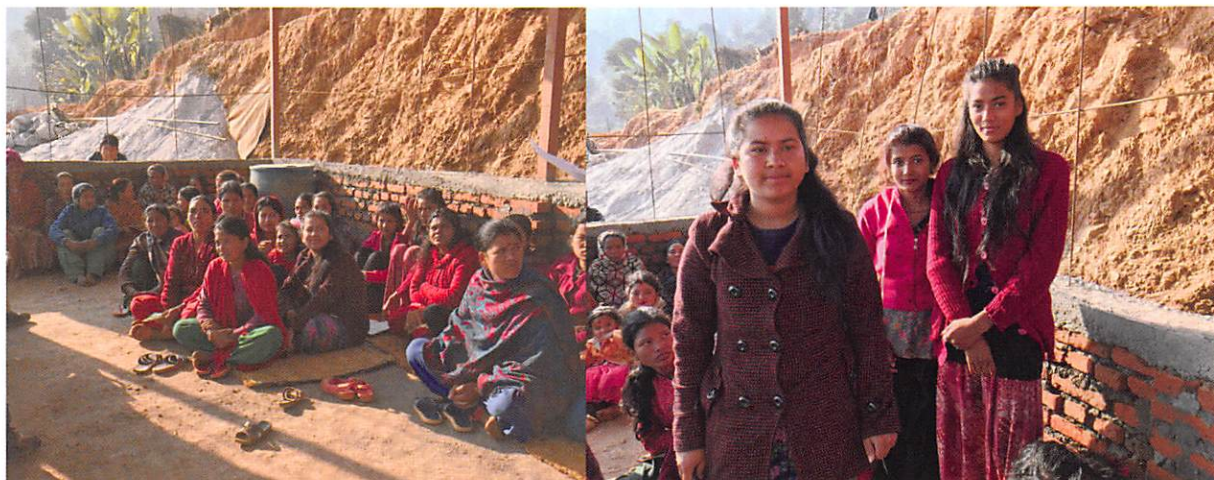




NPO法人篠山ナマスステ会通信

2018(H30)年
11月15日発行

No. 3
(通巻No.35)



女性グループを訪ねた時、セティデビ小学校の卒業生と出会う(2018/1)

変わるネパールの教育 セティデビ校が プレ・スクールに！

ネパールで進む教育改革により、私たちが支援するセティデビ小学校は、2018年度より幼稚園から3年生までのプレスクールに改編されました。

その原因は2015年4月末のネパール大地震です。大地震により家屋に被害を受けるとともに仕事を失った多くの人たちが、家族ぐるみで離村を余儀なくされました。被害が大きかった山間部の学校で児童数が減少し、その結果、児童数に比べて教員の数が多いという現象が起こりました。

そこで政府は、地域性や教育内容等を考慮しながら、児童数の減った学校を閉鎖したり、学校内容を変えたり、教員の再配置等をして諸学校の改編を行いました。

そんな中で、セティデビ小学校は、閉鎖されずに幼児から3年生までの児童の学校として残りました。このことは、SSと私たちの支援により設立された学校が、これからもガハテ村において幼少期からの教育の場として、また人づくりの拠点として存続することです。

私たちは、SSとともに引き続き必要な支援を続けます。今後ともご協力をお願いいたします。



ラクシユミ通信員からの報告

◇ネパールにおける新教育制度について

公立学校が現在は地方政府 (Local Government) の監視・管轄となつて以来、私たちはネパールの教育制度の新しい改革について少し心配をしております。この過程に於いて、セティディビ小学校もマندانデュープル地方政府 (Mundandi) の強く厳密な監視の下に置かれるようになっていきます。この背景の下、セティディビ小学校は児童数としては就学前から3学年までの基礎教育 (basic education) に限定して、4学年から10学年までのラダクリシユナ校により近い学校として位置づける方向が考えられています。

私たちは本当に残念に思っています。セティディビ小学校がSSSと篠山ナマステ会の申し子として誕生以来、この学校におけるより高い教育水準をもたらすべくあらゆる努力をしてきました。



上：セ小職員との話し合い 下：SSS代表との協議

た。しかし、時代と諸状況は不運をもたらしました。

私たちSSSは、セティディビ小学校が3学年までに限定されようと、同校に於ける最良の教育と学習環境のためにあらゆる努力を傾注することを皆様に保障したいと思っています。

2018. 5. 23

SSS代表 バラト・ピスタ

SSS・カブレ ラクシユミ・パウデル

◇ネパール出前講座について◇

篠山ナマステ会では、市内の各学校での国際理解教育の一助になることを願って「ネパール出前講座」を行なっています。

希望される学校は、NPO篠山ナマステ会事務局 (090-3658-8283) までご連絡ください。

平成30年度定期総会報告

本会の定期総会を4月21日篠山市民センターで開催しました。

平成29年度活動報告、決算報告の後役員会選任を行いました。新役員は次の通りです。

代表理事 中西 節

副代表理事 松本 清一

が選任され、事務局長は引き続き若狭幹雄が担当します。

記念行事では、「これからのネパール支援・交流の在り方を考える」と題し、中西代表の報告提案の後、一月のツアー参加者3名が教育にかける思いや女性グループの活躍について熱い思いを語りあいました。今後の活動の活力となりました。



渡邊拓道コーディネーターにより進行

ネパール市民講座を開催します

人権フェスタ in ささやまに参加

- 開催日時：平成 30 年 12 月 1 日（土） 10:00 - 15:00
- 主な内容：活動写真展示、カレンダー販売、ネパールグッズ販売
- 場 所：四季の森生涯学習センター

★ネパールカレンダー
1部 600円

★ネパールの美しい自然が
楽しめます。



市民センターまつりに参加

- 開催日時：平成 31 年 1 月 27 日（日） 10:00 - 16:00
- 主な内容
 - ・講演 ネパール「虹の家」 代表 福谷真知子氏
 - ・ネパールトークショー
 - ・ネパールのダンスと音楽を楽しもう！

詳細は後日お知らせします。多数の参加をお待ちしています。

この事業は篠山市市民活動
助成金を活用して実施します。



計報

篠山ナマステ会設立に尽力され、その後事務局長、代表を長らく続けられた小嶋英毅氏が11月3日にご逝去されました。ネパールにかけられた熱い思いを私たちは受け継ぎ、日ネ両国の親善に務めたいと思っています。ご冥福をお祈りいたします。

解説



手を合わす合掌は感謝、祈りの姿を表します。

面相は、左は女性、右は男性。双方の眼は、瞳の開いている方は現実を見つめ、

瞳の閉じている方は、過去への反省、未来への計画、希望を抱く姿を表現したものです。

本会のシンボルマークは山岸輝雄さんの手によるものです。その山岸さんが、5月にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

書籍紹介

岩村 昇

ネパールの人々と共に歩んだ医師

ネパールがまだ「秘境」と言われた頃、昭和37年から18年にわたってこの国を愛し、医療を中心に幅広い生活改善活動に尽くした岩村昇医師の歩んだ人生を記しています。

帰国後、PHD運動を立ち上げました。

アジアおよび南太平洋地域から草の根レベルでリーダーシップをとっている青年たちを研修生として日本に招きました。日本の家庭にホームステイして、家族と生活を共にしながら、日本の産業の技術や知識を学んでもらうのです。

気候、風土、生活習慣なども異なる国々からやってくる青年たちが、いきなり日本の家庭にホームステイするのは、様々な困難があります。そこで、まず来日して一ヶ月ほど、兵庫県の丹波篠山にある「たんば農文塾」でオリエンテーションを行い、だんだん日本の生活習慣に慣れてもらう配慮もしました。

この「たんば農文塾」というのは、農薬と化学肥料を使って生産性を高めることだけを追求するのではなく、自然界と調和した有機農業を実践する人々のグループが経営している研修塾です。

「農業は文化である」との考えに基づき、有機農業を実践する中で、

人づくりの必要性を感じていた農文塾と、自然の残る山村で、研修生に農の原点を学ばせることを望んでいた岩村医師とが出会いました。そこから、研修生の受け入れが始まったのです。



日本キリスト教団出版局発行
(75・76頁から抜粋)

NPO法人篠山ナマステ会

■事務局

〒669-2221 篠山市西古佐921

■振替口座

00930-6-29629



★新会員を募集しています★

私たち篠山ナマステ会は会員の会費(年間5000円)と広く市民の皆様方のご寄付ご厚志によりネパール支援を行っている団体です。外国ボランティア活動等に関心のある方の加入をお願いします。